

2011.11.18「二枚舌で国会を冒涇する野田総理は NO だ」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は 11 月 18 日金曜日です。

先日 15 日に私も参議院の予算委員会において質問に立ち野田総理や野田内閣のお金の問題を中心に質問してきました。その他にも TPP などの政策面でも、野田内閣を追及したかったわけです。TPP 問題につきましては前回もお話致しましたが、今回も毎週出演している「超人大陸」というインターネット番組で TPP 問題の本質である、貿易立国が出鱈目であるということを様々なデータから示しました。この TPP 問題については日曜日か月曜日に更新されると思いますので是非ご覧ください

そして、今日のビデオレターで皆様にお伝えしたいことは 15 日の予算委員会で質問したことについて補足的に解説しながら皆様方にお話ししたいと思います。一言でいえば、野田政権、野田佳彦という男は全くもって誠意がないということです。そして、二枚舌を平気で使い、まさに詐欺師の典型的なタイプであります。鳩山由紀夫、菅直人と 2 代続いた民主党政権でも言ってることとやっていることが違うということでしたが、私は野田佳彦という男は尚更ひどいと思っております。その理由は何かというと、鳩山さんにしましても菅さんにしましても間違っていたにしても、自分がやりたいことについては信念がどこかに感じられました。鳩山さんにしましては、アメリカの支配から脱却し独自の外交路線でやるべきであると主張し、日本を戦後から脱却させるという

のは、ある種で正しいと思っています。しかしながら、このようなことを考えるのは良いのですが、その為には自主防衛の政策や理念が必須であるわけです。しかし、それらを持たないまま思いつきで日米中の三角形で外交を進めるべきであるや、東アジア共同体など提案してしまい、挙句の果てには普天間はゼロベースで見直し、国外・県外に移転してもらおうというとんでもないことを仰り、最後には辞任致しました。菅さんに致しましては元々左翼市民運動家で、その思想に基づきまして、政策を行おうということがあったわけです。ところが、この野田佳彦という男は何も信念がないのです。ですから、何を問いかけても答えられないのです。しかしながら、一般論は長々と駄弁を労して答えるのです。まさに今彼が言っていることは一般論なら答えるのですが、具体的な話になりますと何一つ答えられないし、全く出鱈目な答弁をします。そして、TPPがその典型であります。片方ではアメリカに行き、交渉参加をしているのにも関わらず、一方では、交渉参加をしたわけではなく、交渉参加に向けての協議を始めたまでだと言うのです。まさに、このことを詭弁というのです。そして、国内において守るべき国益はなにかと問うても何も答えません。我々が質問すると、それは今後、守るように頑張っていきますというのですが、実際には米を守りますというように具体的なことは言えないのです。なぜ、言えないのかと言いますと、元々TPP というものが例外なき関税の廃止であるわけです。そして、例外なき関税の撤廃を看板に掲げているわけですから始めから例外など

あるわけありません。にも関わらず後から加盟して例外を求めていくなどあり得ない話であり、野田さんは二枚舌を使って逃げているのです。普通の方なら二枚舌を使えば普通にいられないのに野田さん始め **TPP** 推進派はずっとこのことを通しているのです。

そして、特に私が今回の予算委員会で質問したのが「野田総理の外国人献金問題」です。要は前原さんの問題が端緒となりました。なぜ、外国人からの献金が問題かといいますと、日本人の主権を外国人に売り払ってはいけないからですし、外国人の方から献金を受け取り、国会議員の意思表示を歪められてはならないのです。まさに、このことは売国行為を止める為の制度なのです。そのことを考えれば、外国人に選挙運動を手伝ってもらい、その議員に要求を突きつけ、推薦を与え、選挙運動を行い当選するなどあり得ないわけです。しかしながら、民主党では実際に行われていたわけです。そして、私の質問で明らかになりましたが、平成 21 年 2009 年の衆議院選挙では民主党のマニフェストに外国人参政権を高々と掲げているのです。では、なぜ永住外国人に参政権を与えるのかといいますと韓国民団が民主党の選挙を手伝い、その見返りに選挙権を求めているからなのです。現に民団のホームページに次の衆議院選挙で外国人参政権を付与してもらう為に、それに協力してくれる候補者を支援し、ポスター貼りやビラ配りなどを行いましょうと呼びかけているのです。そして、その推薦を貰った民主党議員が当選をして、その結果 2009 年の 10 月 11 日に

千葉中央公園で行われた千葉マダンで当時は財務副大臣でしたが民主党の千葉県代表として挨拶をし、前回の選挙での応援に対して感謝を述べているのです。

そして、そのことが Youtube 上にアップされているのです。更に延長戦上にあるのですが、野田さんは韓国籍の民団の方からお金を貰っているのです。今回、お金を貰っている 2 人のお名前を見ますと、明らかに日本人が使わない名前を使っていたのです。例の菅さんの K 氏も「鎬」という漢字でありましたが、それと同じ名前が野田氏の収支報告書にもあったのです。それから、もう一人の松戸市の方の名前も完全に日本の名前ではないのです。こうなってきますと、外国人ではないかとピンと来るのが普通ですが、ピンときたら産経新聞の記者がその方に質問したら認めたわけです。ですから、野田さんが知らなかったということ有り得ないわけです。しかも、船橋の方は野田さんが以前から街頭演説をしていた船橋駅の前のお店の方です。そして、野田さんもそのお店を訪ねたことがあると仰っているのです。その方は兄弟で経営をなされているのですが、その方々は民団の役員であり、特に献金をされた方のお兄さんは民団の中央本部の副団長です。将に幹部中の幹部であります。そして、献金を実際にされた方も現在は船橋区の議長であり、地元の民団の幹部であります。このような方と長年お付き合いをしてきて、「知らなかった」というのはあり得ないでしょう。もちろん、政治資金規正法で訴える為の証拠資料は残っておりません。

ですから、野田さんは「知らなかった」で通そうとしているのでしょうけれども、例え本質的に証拠が無く、通らなかったとしてもモラル的にはありえないであろうということなのです。ところが、野田さんはモラルがない為にこのことに関して何も思わないのです。ですから TPP に致しましても、二枚舌を使うわけです。そして、このままで大丈夫であると思っているわけです。しかし、現実の政治はそうではないのです。私が質問した時の野田さんの態度・答弁を見れば、野田さんが出鱈目であるということが分かるわけです。そして、以前にも民主党の政治と金について追及してきましたが、全て調べないと言っているのです。普通なら調べると言うはずです。また、蓮舫さんや、手塚首相補佐官と脱税や麻薬取締法で逮捕された N 氏との関係をどう思うかと問いただしたところ、「個人の問題である」と言うわけです。この言葉に呆れ果ててしまいます。私が野田総理にメディア 21 のことを質問し、S 氏の関係者から沢山のパーティー券を購入してもらっていたが、その方が覚せい剤や脱税で捕まっている経歴がありますと指摘したところ、野田さんは飛び上がった顔をして「知りませんでした。すぐに返金し、お付き合い致しません」と言っていたはず。まさに野田さん自身なのです。ところが、もっと規模の大きな会社から自分の側近が献金を受けていたことに対して問題視しないということは二枚舌以外の何物でもありません。そして、手塚補佐官や蓮舫さんのことを調べなさいと言ったところ、「個人の問題である」と言うのです。では、なぜ調

べないのかといいますと、調べていけば自分の首が絞まるからです。また、月曜日に販売される週刊朝日にもこのことに関して詳しく載るはずですよ。野田さんもこの N さんと関係があるということも暴かれてくると思います。

いずれに致しましても、二枚舌を使いモラルにもとる行為をいたしまして平気な顔でおり、自分の犯罪的行為もそうですが、国民の利益もアメリカに売り渡してしまおうという TPP についても同じことが言えるのです。つまり、民主党において野田佳彦という人物は特にそうではありますが、全くモラルも誠意もないというわけです。このような方は政治家を辞めてもらう以外にありません。国会の場というのは議論を通じて国民に知らせる機関でありますから、二枚舌を使われては話になりませし、事実と違うことを平気で言います。この事は国会軽視であるばかりか、人間を舐めきっています。ですから、私はこのような内閣は1日も早く倒さなければならないと思っています。そして、このことを行わない自民党の執行部なら執行部ごと替えなければならないと思っています。そのようなことを含めまして、1日も早く民主党政権をつぶさなければならないと思っています。その為に全力で戦うということをお誓い申し上げまして、今日のビデオレターを終わりにしたいと思います。ありがとうございました。